

穂高PTAだより

発行日 令和2年3月1日

穂別高校PTA研修委員会



C
O
N
T
E
N
T
S

・ご卒業おめでとうございます	PTA会長 吉田直司	2ページ
・卒業によせて	校長 松本文治	2ページ
・卒業担任より～求めよ、されば与えられん～	三学年主任 佐野竜矢	3ページ
・進路活動を振り返って	進路指導部長 大友光裕	3ページ
・学校のために	生徒会長 阿部愛加	4ページ
・苦手と向き合う二学年へ	一学年主任 武田幸大	4ページ
・万里一空 目標を見失わずに歩んできた道	二学年主任 早瀬憲寿	4ページ
・平成31年（令和元年）度	PTA事業報告	4ページ
・PTA研修委員		4ページ

【卒業】

おめでとうございます」

PTA会長 吉田 直司



皆様にあためてお慶び申し上げます。

平成三十年九月六日の北海道胆振東部地震発生から一年六ヶ月が経ち、復旧復興の半ばですが、先生方に於かれましては、深いご理解と多大なるご支援をいただき卒業を迎えることが出来たのではないのでしょうか。この場をお借りしまして、心よりお礼を申し上げます。

卒業される皆様の高校生活三年間は、楽しいことばかりではなかったと思います。部活動で仲間と共に厳しい練習を乗り越え、思っていた結果を得られた時もあればそうでない時もあつたでしょう。人間関係に悩んだり頑張っているのに結果が出なかったり、目標を見失ってしまったかもしれないのかわからなくなってしまう時もあつたかもしれません。それでも、皆様は前へ前へと歩みを進めてくれました。それはきっと、皆様の信じて、励まし、支えてくれる家族・先生・友達・仲間がいたからではないかと思えます。むかわ町穂別で過ごした、三年間を大切な思い出、そして故郷として心に刻んでおいて下さい。むかわ町穂別という街、穂別高校で学んだ事、同じ学び舎で仲

間達と過ごした日々は、かけがえのない財産であり心の故郷となります。それぞれの夢や目標に向かって羽ばたいて行けば、必ずや道は拓けると信じて頑張ってください。そして時に振り返ると、先生方や友達ご家族の皆さんは、暖かく見守ってくださっていると思います。卒業生の皆様に、心から祝福を贈りご挨拶とさせていただきます。ご卒業、誠にありがとうございます。

「卒業によせて」

校長 松本 文治



第六十九期生十五名のみなさん卒業おめでとう。そして、卒業生の保護者のみなさまにはPTAとして三年間、本校の教育活動にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。

ございました。

本校での三年間の学業を終えて卒業証書を手にした生徒の感慨もさることながら、ここまで育て上げられた保護者のみなさまのお気持ちは一言では表せないことと思います。三年前に高校に入学したときにはこれからどのような高校生活を送るのか不安とともに、成長を遂げて進学や社会人として次のステップに立派に進んでほしいという願いでいっぱいだったことでしょう。

今回卒業する生徒たちと一緒にわたし自身も穂別高校に赴任し、三年間同じ学舎で生活し見守ってきました。生徒たちは楽しいこと、感激したこ

ともたくさんあつたと思います。体も健康で大きくなりました。また一方、北海道胆振東部地震では震災に遭い、不安に駆られたり人間関係で悩み苦しんだり、学習面でよい成績がだせず苦勞した様子も見えました。しかし、先生方や友人そして家族の皆さんに支えられ、それらを乗り越えて一所懸命本人が努力して今があります。

生徒たちには全校集会などで、意識して目的をもって生活をし、目的をかなえるために目標をいくつも設定しゴールを通過して次々に目標をクリアしていきなさい。二日一日を大切に「するためには、毎日朝起きてから夜寝るまでの間に人は千回以上の選択をしているというので、その選択は楽な方を選ばずしっかり意識をして選択すること」で目標に向かえる。少しずつではあるが変わっていく、その積み重ねで大きな目的を達成したり成長ができる。「人生は選択の連続である」から、よい選択をしてくださいと伝えてきました。高校では先生方が生徒の成長を促してくれましたが、卒業後はそれぞれが自分の心と体と頭の成長を続けさせていくてくれることを願っています。

高校卒業という目標のゴールを通過し、次のステップでそれぞれが設定した目標をクリアし大きな目的を達成していくてくれることが本校教職員の喜びでもあります。

卒業生の保護者のみなさま三年間ありがとうございました。そして、在校生の保護者のみなさまにおかれましては、次年度もこれまで同様PTA活動にご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

卒業担任より

求めよ、されば与えられん

三学年主任 佐野 竜矢

「求めよ、されば与えられん」という言葉を知っていますか？これは新約聖書の中、マタイ福音書の一節です。私自身キリスト教徒ではありませんが、この言葉だけは心理のような気がしています。欲しいものは求めている人のもとにしか行かないのです。大切なのは「求める」ことです。手に入れたという気持ちだけではいけません。手に入れるためにきうる限りの努力をしなければなりません。知識が欲しいなら学ぶしかないし、技術が欲しいなら訓練するしかないのです。

高校を卒業した後は自分で舵を切らなければならず、その為には進む方向を示す目標が必要になります。高校生活三年間の中で見つけた目標を、追い求めて努力してください。自ずと自分のものになっているはずですよ。そしてマタイ福音書の一節の最後にはこう書かれています。「自分が与えられたように他の人にも与えなさい」と。

皆さんが社会の中で欲しいものを手に入れ、そして与える側の人間になることを祈っています。卒業おめでとう！



進路活動を振り返って

進路指導部長 大友 光裕

今年度の進路に関わる活動として、職業講話、進路相談会、オープンキャンパス見学会、インターンシップ、進学相談会、租税教室、出前授業などがありました。

それぞれの活動を通して、進路目標に関する興味関心を高めるのが目的です。目的達成のために実施のタイミング、方法等の細部の工夫を続けていきたいと思っています。また、三学年の模擬面接指導やアドバンスタデイもだいぶ定着してきました。今後も継続していきます。

今年度の大きな出来事は、大学の新テスト改革についてでした。事態はさらに流動的になり、進路指導部として今後も情報収集を続けます。今年の3学年の進路状況は左記の通りです。在校生も進路希望をかなえられるよう、今以上にたくさんの皆様方からのご協力をお願いします。

3年生の進路決定状況

	決定者数
私立大学	2
専門学校	5
公務員	3
民間就職	4
合計	14

(令和2年2月12日現在)

新生徒会の抱負

学校のために

生徒会長 阿部 愛加

私たち生徒会執行部は、十月から生徒会長の阿部、副会長の小塚、書記長の小林、書記の大畑、会計の西村、体育常任委員長の藤江、文化常任委員長の山口の計七名で活動しています。

主な活動内容は、朝の挨拶運動、行事の企画・運営、他校との交流など、他の委員会や外局と協力して行っています。

そして、昨年に引き続き、今年度も遠隔システムを使用し、苦前商業高校や厚真高校、虻田高校との交流を行いました。今後は、他校との交流で学んできたことを本校での活動で活かしていきたいと思っています。

今期の生徒会は、「報告・連絡・相談を大切に」「生徒会執行部から積極的に発信する」を目標に、生徒会執行部内での情報共有を細やかにし、学校全体にも発信していこうと思っています。全員で協力しながら頑張ります。



学年主任の先生から

苦手と向き合う二学年へ

一学年主任 武田 幸大

入学時には堅かった教室も、一年間かけて少しずつ空気が溶けていき、穏やかな教室になりました。授業はしっかりと取り組み、休み時間や行事では各自がしたいように楽しむというメリハリをつけた学校生活を送れています。平成三十一年度入学生の方所は、相手の心を想像し、他者に寄り添った言動ができる点だと感じます。仲間の発表に拍手をしたり、教員が教材の準備をしていたら自主的に手伝ったりなど、いろいろな場面でその長所を発揮してくれました。



四月からは高校のミドルとして、後輩を気遣いながら先輩を立てるという難しい役回りをする必要があります。その中で調整の難しさや、先頭に立つて行事を進める大変さを

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

万里一空 目標を見失わずに歩んできた道

二学年主任 早瀬 憲寿

四月に「学力の活用」「生徒主体の学級づくり」「助け合い・学びあう人間関係の構築」を身につけることを目標にスタートし一年が経とうとしています。この一年間で二年A組のみなさんは、穂高高校以外での活動が多くあり、様々なことに取り組みました。学校内だけでなく実社会で役に立つ力を身につけ、その力を発揮してくれたことが、インターシップや見学旅行の成功に繋がったと感じています。

今後は、穂高高校の最高学年として、後輩たちに目指すべき姿を見せたい。皆さん、学校全体をより良くするために活動してください。



するだけでなく、自分たちが受け取った伝統と、新しく作り上げたものを後輩にしっかりと渡して欲しい。また、三学年では「自立と自律、自己実現、社会人基礎力の定着」を目指し、卒業後の人生を、自信を持ち歩み続けられるようになってください。

平成31年(令和元年)度PTA事業

(令和元年10月～令和2年3月)

- 11月1日 見学旅行保護者説明会 (2学年)
- 11月23日 むかわ町PTA連合会研究大会
- 12月20日 屋内競技大会参加
- 3月1日 PTAだより発行
- 3月26日 第2回PTA役員会

編集 PTA 研修委員

委員長	桜井 亜希子
副委員長	西村 真由美
委員	真壁 羽純